

生物多様性保全に係る武蔵台緑地生態および修景管理業務委託 作業報告書（武蔵台緑地）

令和7年2月の景色



ウグイスカグラ

スイカズラ科の落葉樹で、高さは2mくらいになります。

雑木林の樹木の多くが葉を落としているなか、ピンク色の愛らしい花は目をひきます。

武蔵台緑地では、コナラ林に点在しています。

5月頃になる赤い実は、鳥たちのエサになるといいます。

植生管理ガイドラインより引用（一部編集）

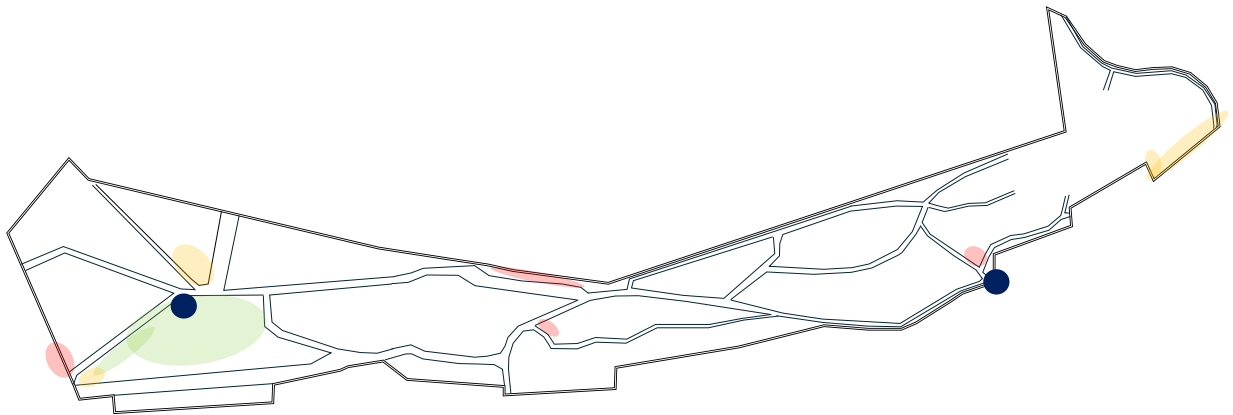
植栽由来の常緑低木の多くも、鳥が実を食べて糞とともに種子を排出することで増えています。

鳥に本来の餌である在来の低木の果実を食べてもらうことは、外来・逸出種の増加抑制につながるかもしれません。

業務の実施内容

- ・ササ刈り
- ・実生木と常緑樹の選択除去
- ・外来種・栽培種などの選択除草
- ・市民ボランティア等との協働
- ・植物相調査
- ・巡回
- ・投棄物の回収清掃

作業箇所図



- 実生木・常緑樹の選択除去
- 外来種・栽培種ほかの選択除去
- ササ刈り
- 支障木 剪定

ササ刈り

区域を明確にするため、ライン上ではササ類を地際から刈り取りました。



作業前



作業後

ササ刈り と 実生木と常緑樹の選択除去

目標とする高さを超えるササ類と、実生木・常緑樹は地際から刈り取りました。



作業前



作業後



作業前



作業後

10mを超す高さになった実生木 コナラ実生木への日照を遮るため、除伐しました。



作業前



作業後

*実生木（みしょうぼく）とは…

風や鳥などに運ばれてきた種から芽生え、成長した樹木のこと

選択除草

外来種や侵入した栽培種、希少植物周辺の草本は選択的に除草しました。

隣接する敷地からフェンスを越えて侵入してきた外来種のみドリハカタカラクサを除去



作業前



作業後

希少種であるキツネノカミソリを覆うようにして伸びるつる植物や実生木を除去しました。
併せて落ち葉かきも実施し、希少種に陽が当たるようにしました。



作業前



作業後



キツネノカミソリの葉



開花期には葉はなくなり花茎だけが伸びます

危険木・支障枝の除去

傾いた幹の除伐および今後、通行時に支障となりそうな枝の剪定をしました。



作業前



作業後



作業前



作業後

投棄物の回収清掃



頻繁に培養土や剪定枝が投棄されている場所です。積みあがった培養土を掘り上げたところ、投棄されていた鉄製の格子が出てきました。

市民協働

府中市環境調査員会議との協働 自然環境調査（植物班）

毎月1回開催される自然環境調査（植物班）に同行し、調査をしています。

調査日以外に確認した生育場所・状況等については随時、情報提供をしています。



シュンランの実 見られるのは珍しい



虫こぶができたイヌシデの頂芽

武蔵台緑地保全ボランティアとの協働

緑地整備活動に同行し、手入れ内容や方法についての助言や植物生育状況などについて情報提供をしています。今月はササ類の刈り取りと、落ち葉かきを行いました。



作業前



作業後

地元中学生への普及啓発活動

緑地に隣接する中学校の「生き方学習・職業講話」の場において、第1学年の生徒の皆さんに武蔵台緑地の特徴や、管理方法などについて話をしました。



植物相調査

こまめに調査をし、毎月1回の自然環境調査では確認していない時期や場所の状況を記録しています。



カンゾウ類の新芽が伸びてきました



ヒメカンスゲ 特徴的な黄色い穂が目立ちます

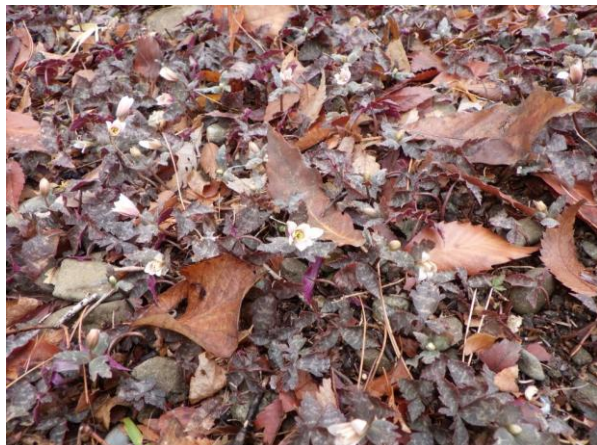
緑地では人為的に持ち込まれるなどして、本来この土地にはないはずの植物が生育しているのを見かけることがあります。こういったものは自生ではないことをしっかりと記録すること、生育範囲が拡大しすぎないように監視すること、あるいは除去することが必要です。



セツブンソウ 2月3日に開花を確認



葉のみ出ている個体は4個体



ユキワリイチゲ 開花 関東には自生しない



ユキワリイチゲ 生育範囲の確認

緑地内で見かけた動物



キタテハ タテハチョウ科

林の近くや荒れ地で見られ、
樹液や花の蜜を好みます。

今回は、梅園に接する草地で
見かけました。



シジュウカラ シジュウカラ科

胸元にネクタイを締めているような
黒い筋が入っているのが特徴です。

今回は、梅園に接する草地で
見かけました。



切株の地際が掘られていました
動物が掘った跡でしょうか

